



Cisco Unified Personal Communicator リリースノート Release 1.1

発行日 : 2006 年 7 月 17 日、Text Part Number : OL-11296-01-J

このリリース ノートでは、Cisco Unified Personal Communicator のシステム要件、新機能、および警告について説明します。

ソフトウェアのダウンロードについては、10 ページの「インストレーション ノート」を参照してください。

目次

このリリース ノートで説明するトピックは、次のとおりです。

- [概要、2 ページ](#)
- [システム要件、2 ページ](#)
- [関連資料、9 ページ](#)
- [新規情報および変更情報、10 ページ](#)
- [インストレーション ノート、10 ページ](#)
- [警告、11 ページ](#)
- [トラブルシューティング、18 ページ](#)
- [マニュアルの最新情報、18 ページ](#)
- [技術情報の入手方法、19 ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティ概要、20 ページ](#)
- [テクニカル サポート、22 ページ](#)
- [その他の資料および情報の入手方法、24 ページ](#)

概要

このリリース ノートでは、Cisco Unified Personal Communicator の要件、注意事項、制約事項、および警告について説明します。このリリース ノートは、メンテナンス リリースおよびメジャー リリースが行われるたびにアップデートされます。

Cisco Unified Personal Communicator をインストールする前にこのマニュアルを参照して、システムに与える影響を確認することをお勧めします。未解決の警告の一覧については、[14 ページの「未解決の警告」](#)を参照してください。

システム要件

このセクションでは、Cisco Unified Personal Communicator のシステム要件について説明します。

- [ネットワーク要件、2 ページ](#)
- [サーバ要件、4 ページ](#)
- [推奨されるサーバ要件、5 ページ](#)
- [クライアント PC 要件、6 ページ](#)

ネットワーク要件

Cisco Unified Personal Communicator がネットワーク内のエンドポイントとして正常に動作するためには、次の各セクションで示されている要件をネットワークが満たしている必要があります。

- [Voice over IP、2 ページ](#)
- [Cisco Unified Personal Communicator で使用されるネットワーク ポート、2 ページ](#)
- [ルーティングのアクセス コントロール リスト、3 ページ](#)
- [Quality of Service、4 ページ](#)
- [ネットワーク アドレス変換、4 ページ](#)

Voice over IP

シスコのルータおよびゲートウェイで Voice over IP (VoIP) が設定されている必要があります。

Cisco Unified Personal Communicator で使用されるネットワーク ポート

Cisco Unified Personal Communicator では、特定のポートで特定のプロトコルを使用してインバウンドトラフィックやアウトバウンドトラフィックが送受信されます。



(注)

Cisco Unified Personal Communicator では、オペレーティング システムによってランダムに割り当てられたポートを使用して各種のトラフィックが送信されます。たとえば、Session Initiation Protocol (SIP) および SIP Instant Messaging and Presence Leveraging Extensions (SIMPLE) のトラフィックの場合は、OS によって 50000 ~ 50063 の範囲にあるポートが使用されます。クライアントはこれらのポートからトラフィックを送信します。また Cisco Unified CallManager サーバや Cisco Unified Presence Server への接続にもこれらのポートが使用されます。

インバウンドトラフィックを受信するネットワークポートは、次のとおりです。

- 50000 ~ 50063 : SIP
50000 ~ 50063 : クライアント PC 宛の TCP または UDP トラフィックの受信
Cisco Unified Presence Server への SIMPLE 接続に TCP または UDP を使用するように Cisco Unified Personal Communicator を設定している場合、サーバからの応答も同じプロトコルで行われます。この設定は、Cisco Unified Presence Server の管理で行います ([Application]>[Unified Personal Communicator]>[Proxy Profile] を選択します)。
- 16384 ~ 16424 : Real-Time Transport Protocol (RTP) の音声とビデオ

アウトバウンドトラフィックで接続するネットワークポートは、次のとおりです。

- 69 : TFTP
- 80 : Cisco Unified MeetingPlace Express との HTTP 接続
- 143 : Cisco Unity Connection との Internet Mail Access Protocol (IMAP) 接続
- 389 : Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) との TCP 接続
- 443 : 設定をダウンロードするための Simple Object Access Protocol (SOAP) over HTTPS 接続、および Cisco Unified MeetingPlace Express との HTTPS 接続
- 2748 : CTI ゲートウェイ (Cisco Unified CallManager の CTIManager コンポーネント) への TCP 接続
- 5060 : Cisco Unified CallManager にソフトフォンを登録するための SIP 接続、およびプレゼンス情報を Cisco Unified Presence Server に提供するための SIMPLE 接続

これらの情報を使用して、次のような設定を行うことができます。

- Cisco Security Agent for Unified CallManager など、他のアプリケーションと統合して、ユーザの PC で信頼できないアプリケーションが実行可能なアクティビティの種類を制限する。
- ファイアウォール経由の Cisco Unified Personal Communicator 宛のトラフィックのブロックを解除する。
- Quality of Service (QoS) ポリシーまたはルーティングのアクセス コントロール リスト (ACL) を適用して、Cisco Unified Personal Communicator のトラフィックに優先順位を付ける。詳細は、[3 ページの「ルーティングのアクセス コントロール リスト」](#)および [4 ページの「Quality of Service」](#)を参照してください。

ルーティングのアクセス コントロール リスト

Cisco Unified Personal Communicator が音声 VLAN (音声トラフィックを伝送する VLAN) に接続されているサーバやエンドポイントと通信できるように、スイッチングおよびルーティングの ACL を設定する必要があります。

ACL を使用すると、Cisco Unified Personal Communicator が適切なプロトコルを使用して各サーバに接続することを許可できます。たとえば、RTP パケットを許可して適切な QoS 処理を関連付けることができます。

ソフトフォン モードで Cisco Unified Personal Communicator を使用する場合は、この設定を行うことで、Cisco Unified Personal Communicator が IP ネットワーク上の他の音声およびビデオ エンドポイントとの間で RTP メディアを送受信できるようになります。

ACL の詳細、音声 VLAN の設定方法、QoS 処理の設定方法については、ご使用のネットワーク製品のスイッチングおよびルーティングに関するマニュアルを参照してください。

Quality of Service

Cisco Unified Personal Communicator では、Differentiated Services Code Point (DSCP) を使用してレイヤ 3 の IP パケットをマーキングしています。Cisco Unified Personal Communicator クライアントでは、すべての RTP トラフィックの DSCP 分類を 46 に設定しています。シスコのトラフィック ガイドラインの例を表 1 に示します。

表 1 ネットワーク トラフィックの分類ガイドライン

アプリケーション	レイヤ 3 の分類			レイヤ 2 の分類
	IP Precedence	Per-Hop Behavior	DSCP	サービス クラス
音声 RTP	5	EF	46	5

ガイドラインの完全な一覧表については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_implementation_design_guide_chapter09186a008063744e.html#wp1043799

多くのネットワークでは、コンピュータのトラフィックから DSCP マーキングが取り除かれています。したがって、Cisco Unified Personal Communicator のトラフィックにマーキングするためには、アプリケーションが使用しているポート範囲に基づいてコンピュータのトラフィックに DSCP マーキングが適用されるように、スイッチおよびルータを設定する必要があります。また、Cisco Unified Personal Communicator が通信する宛先アドレスも設定する必要があります。

QoS および DSCP マーキングの詳細は、ご使用のネットワーク製品のスイッチングおよびルーティングに関するマニュアルを参照してください。

ネットワーク アドレス変換

Cisco Unified Personal Communicator は Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換) に対応していません。Simple Traversal of UDP through Network Address Translation (STUN) や Traversal using NAT (TURN) などの NAT-Traversal 方式はサポートされていません。

NAT をトラバースするためには、Cisco Unified Personal Communicator が Virtual Private Network (VPN; パーチャル プライベート ネットワーク) 接続の背後にある必要があります。

サーバ要件

Cisco Unified Personal Communicator が動作するためには次のサーバが必要です。

- Cisco Unified CallManager Release 5.0(4) がネットワークにインストールされ、コール処理を処理するように設定されている。このサーバは、Cisco Unified CallManager の Computer Telephony Interface (CTI) を使用して Cisco Unified IP Phone を制御します。Cisco Unified CallManager の詳細は、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html

- Cisco Unified Presence Server Release 1.0(1) がインストールされ、稼働している。このサーバは、Cisco Unified Personal Communicator クライアントの設定情報やプレゼンス情報を提供します。Cisco Unified Presence Server の詳細は、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/tsd_products_support_series_home.html

- LDAP サーバ バージョン 3

次の LDAP ディレクトリがサポートされています。

- Microsoft Windows 2000 および 2003 で使用可能な Microsoft Active Directory (AD 2000 および AD 2003)
- Sun One Directory Server 5.2

推奨されるサーバ要件

Cisco Unified Personal Communicator のすべての機能を使用するには、次の製品のインストールが必要です。

- Cisco Unity Connection Release 1.1(1) がインストールされ、稼働している。この製品はボイスメールの取得および再生機能を提供します。Cisco Unity Connection の詳細は、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/tsd_products_support_series_home.html

- Cisco Unified MeetingPlace Express Release 1.1.2 がインストールされ、稼働している。この製品は、共有専用の（デスクトップ画面とドキュメントを共有した）Web 会議を提供します。

ただし、Cisco Unified MeetingPlace Express の次の機能は、Cisco Unified Personal Communicator で開始した会議では使用できないか、サポートされていません。

- 参加者リスト、チャット、ノートツール（Cisco Unified Personal Communicator には似た機能が用意されていることもありますが、Cisco Unified MeetingPlace Express と同じものではありません）
- ミュート、ミュート解除、会議の録音、会議のリッスン、ブレイクアウトセッションなどの音声機能。
- 会議への参加をロックアウト（制限）したり会議参加者を退出させるなどのセッション中の管理機能。
- 会議のパスワードや電子メール通知。
- [Find] または [Attend] ユーザ Web ページからの会議へのアクセスや、Cisco Unified IP Phone の画面からの会議へのアクセス（Cisco Unified IP Phone で Cisco Unified MeetingPlace Express を使用している場合）
- モデレータの役割（Cisco Unified Personal Communicator で開始された会議ではすべてのユーザがプレゼンタになります）

Cisco Unified MeetingPlace Express の詳細は、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/tsd_products_support_series_home.html

- Cisco Unified Videoconferencing



(注) マルチパーティのビデオ会議は、Cisco Unified Personal Communicator の今後のメンテナンスリリースでフルサポートされる予定です。Cisco Unified Videoconferencing および Cisco Unified CallManager の使用に関する互換性情報やバージョン情報はこのときに提供されません。それまでは、マルチパーティのビデオ会議が含まれているご注文は New Product Hold (NPH) とさせていただきます、案件ごとに評価させていただきます。

クライアント PC 要件

Cisco Unified Personal Communicator をインストールする PC は、次の各セクションで示されている要件を満たしている必要があります。

- [プラットフォーム要件、6 ページ](#)
- [ソフトウェア要件、6 ページ](#)
- [ソフトウェアの相互運用性、7 ページ](#)
- [サポートされている電話、7 ページ](#)
- [サポートされているヘッドセット、8 ページ](#)
- [サポートされているビデオテレフォニー カメラ、8 ページ](#)
- [サポートされている音声コーデックとビデオコーデック、9 ページ](#)

プラットフォーム要件

Cisco Unified Personal Communicator を使用するためのクライアント PC のプラットフォーム要件を [表 2](#) に示します。

表 2 Cisco Unified Personal Communicator の要件

オペレーティング システム	CPU の処理速度およびプロセッサ タイプ	RAM
Windows XP Professional Service Pack 2 以降	1.8 GHz 以上の Pentium 4 または互換プロセッサ (ビデオ コール機能を使用する場合は 2.4 GHz 以上を推奨)	256 MB (ビデオ コール機能を使用する場合は 512 MB を推奨)

また、次の要件も満たしている必要があります。

- 120 MB 以上のディスク空き領域
- 全二重方式の非 ISA サウンド カード (内蔵型または PCI ベース)、または USB サウンド デバイス
- 10/100 Mbps イーサネット ネットワーク インターフェイス カード
- ビデオ対応のグラフィックス カード (1024x768x16 ビット以上)
- ソフトフォン コールを使用する場合は高速接続 (音声コールの場合は 128 kbps、ビデオを使用したコールの場合は 300 kbps)
- ビデオ コールを使用する場合はビデオ テレフォニー カメラ ([8 ページの「サポートされているビデオテレフォニー カメラ」](#)を参照)
- 音声ソフトフォン モードを使用しボイスメールを再生する場合はヘッドセット ([8 ページの「サポートされているヘッドセット」](#)を参照)

ソフトウェア要件

クライアント PC のソフトウェア要件は、次のとおりです。

ブラウザのサポート

Cisco Unified MeetingPlace Express と統合する場合は、次の URL の『*Release Notes for Cisco Unified MeetingPlace Express*』を参照して、Windows クライアント PC でサポートされているブラウザの一覧を確認してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/tsd_products_support_series_home.html

Microsoft DirectX

クライアント PC には Microsoft DirectX 9.0c をインストールする必要があります。これにより高速なマルチメディアが実現されるとともに、セキュリティとパフォーマンスがアップデートされます。詳細は、次の URL を参照してください。

<http://www.microsoft.com/windows/directx/default.msp>

USB 音声デバイスのホットフィックス

Cisco Unified Personal Communicator ユーザが Microsoft Windows USB 音声デバイスのホットフィックスをインストールしていることを確認します。

- Windows XP 用：KB 914642 および KB 884868

ホットフィックスを入手するには、次の Microsoft のサポート URL を参照してください。

<http://support.microsoft.com/contactus/?ws=support>

ソフトウェアの相互運用性

Cisco Unified Personal Communicator、Cisco Unified Video Advantage、および Cisco IP Communicator は、1 台のクライアント PC に共存させることができますが、「ビデオが利用できません」というメッセージの受信を避けるため、これらの製品は同時に実行しないことをお勧めします。

サポートされている電話

表 3 に、Cisco Unified Personal Communicator での使用がサポートされている電話の一覧を示します（Cisco Unified CallManager の Cisco Computer Telephony Interface (CTI) モードが使用可能な場合）。

表 3 サポートされている電話

電話	SCCP ¹	SIP ²
Cisco Unified IP Phone 7902	はい	いいえ
Cisco Unified IP Phone 7905	はい	いいえ
Cisco Unified IP Phone 7910	はい	いいえ
Cisco Unified IP Phone 7912	はい	いいえ
Cisco Unified IP Phone 7920	はい	いいえ
Cisco Unified IP Phone 7940	はい	いいえ
Cisco Unified IP Phone 7960	はい	いいえ
Cisco Unified IP Phone 7911	はい	はい
Cisco Unified IP Phone 7941	はい	はい
Cisco Unified IP Phone 7961	はい	はい
Cisco Unified IP Phone 7970	はい	はい
Cisco Unified IP Phone 7971	はい	はい
Cisco Unified IP Phone 7985	はい	いいえ
CiscoATA ³ 186	はい	いいえ
Cisco ATA 188	はい	いいえ

1. SCCP = Skinny Call Control Protocol
2. SIP = Session Initiation Protocol
3. ATA = Analog Telephone Adaptor

古い電話器の中には、SCCP 電話として設定されている場合は CTI がサポートされていても、SIP 電話として設定されている場合は CTI がサポートされていないものがあります。

- 古いモデルの Cisco Unified IP Phone (たとえば、新しい Cisco Unified IP Phone よりも搭載メモリが少なく Java ベースでない 7940 や 7960 など) では、SIP 電話として設定されている場合は CTI がサポートされていません。
- Java ベースの新しい Cisco Unified IP Phone (たとえば、古い Cisco Unified IP Phone よりも搭載メモリが多い 7940G、7960G、7970 モデルなど) では、SIP 電話として設定されている場合でも CTI がサポートされていません。

次の電話器は、Cisco Unified Personal Communicator での使用はサポートされていません。

- Cisco Unified IP Conference Station 7935 および 7936
- Cisco IP Communicator
- CTI が使用できないモデル
- テストが実施されていないモデル

サポートされているヘッドセット

音声ソフトフォン モードおよびボイスメールの再生には、Windows 互換のサウンド デバイス(ヘッドセット、スピーカー、マイク)が必要です。

表 4 に、サポートされている USB ヘッドセットを示します。

表 4 サポートされている USB ヘッドセット

メーカー	モデル
Plantronics	DA-60、DSP-300、DSP-400、DSP-500
GN Netcom	GN 8110 USBxp

ヘッドセットのテストでシスコが確認しているのは、音声の送受信のみです。ヘッドセットに用意されている機能ボタンは Cisco Unified Personal Communicator ではサポートされていません。

シスコでは、サードパーティのヘッドセットと受話器を Cisco Unified Personal Communicator で使用する基本的なテストは行っていますが、最終的にはお客様の責任において、それぞれの機器をお客様の環境でテストし、適切なパフォーマンスを判断してください。Cisco Unified Personal Communicator を導入する場所によって環境面やハードウェア面の条件が異なるので、すべての環境に最適な単一のソリューションはありません。

サポートされているビデオ テレフォニー カメラ

Cisco Unified Personal Communicator のビデオ ソフトフォン モードでは、次のカメラがサポートされています。

Windows OS :

- Cisco VT Camera
- Cisco VT Camera II

これらのカメラは、USB 2.0 ポートに接続します。

サポートされている音声コーデックとビデオコーデック

コーデックとは、コーダやデコーダのアルゴリズム（圧縮や圧縮解除を行うアルゴリズム）のことです。コーデックは、音声ファイルやビデオファイルなどのさまざまな種類のデータをエンコードまたはデコード（圧縮または圧縮解除）するために使用されます。コーデックを使用することで、大量のディスク領域が消費されるのを防ぐことができます。Cisco Unified Personal Communicator では、次のコーデックがサポートされています。

- 音声コーデック：G.711a、G.711u、G.729
- ビデオコーデック：H.263、H.263 Basic、H.264
 - Common Intermediate format (CIF): 352x288、最大 30 フレーム / 秒 (クライアント PC の性能によって異なる)
 - Quarter CIF (QCIF): 176x144、30 フレーム / 秒 (クライアント PC の性能によって異なる)

関連資料

Cisco Unified Personal Communicator のすべてのマニュアルについては、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/tsd_products_support_series_home.html

関連製品の情報については、次の URL を参照してください。

- 『Cisco VT Camera Quick Start Guide』
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_installation_guides_list.html
- Cisco Unified CallManager のマニュアル
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco Unified Presence Server のマニュアル
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco Unity Connection のマニュアル
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco Unified MeetingPlace Express のマニュアル
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/tsd_products_support_series_home.html

新規情報および変更情報

Cisco Unified Personal Communicator Release 1.1 は、この製品の最初のリリースです。このデスクトップ コンピュータ アプリケーションは、最も頻繁に使用する通信アプリケーションやサービスを透過的に統合し、効率的な通信を実現します。効率化された通信処理によって作業の迅速化や質の向上が図れます。Cisco Unified Personal Communicator では、音声やビデオの使用、ドキュメントの共有、プレゼンス情報の確認などを単一のリッチメディア インターフェイスからすべて行うことができます。

Cisco Unified Personal Communicator の主な機能と利点は、次のとおりです。

- Cisco Unified Personal Communicator を使用している他のユーザのプレゼンスをリアルタイムで確認できる。
- 連絡先一覧を使用してクリック操作でコールを発信できる。
- 統合されたソフトフォンまたは関連する Cisco Unified IP Phone を使用できる。
- コンピュータの画面にビデオを表示して、相手の顔を見ながら意見交換を行える。
- セッション中に通信方式を追加できる（たとえば、既存の音声セッションにビデオを追加したり、既存のビデオセッションに Web 会議を追加したりできる）。
- 会話セッションをマージして電話会議を作成できる。
- ボイスメール メッセージの表示、再生、ソート、削除をすべて同じクライアント アプリケーションから実行できる。

機能および利点の詳細については、次の URL にある Cisco Unified Personal Communicator のデータシートを参照してください。

http://cisco.com/en/US/products/ps6844/products_data_sheets_list.html

インストール ノート

Cisco Unified Personal Communicator のシステム ソフトウェアとライセンスを発注していただく必要があります。シスコの営業担当者にお問い合わせいただくか、<http://www.cisco.com/en/US/ordering/index.shtml> にアクセスしてください。

ご注文完了後、Cisco Unified Personal Communicator のマニュアルがある場所をお知らせし、Product Authorization Key (PAK) を送付させていただきます。PAK には、ソフトウェアのアクティベーション キーとライセンス ファイルが含まれています。ライセンス ファイルの入手方法の詳細については、次の URL にある Cisco Unified Personal Communicator のインストール ガイドを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/prod_installation_guides_list.html

Cisco Unified Personal Communicator ソフトウェアは、Software Center (<http://www.cisco.com/public/sw-center/sw-voice.shtml>) からダウンロードします。このサイトにアクセスするには Cisco.com のアカウントが必要です。

警告

Bug Toolkit を使用すると、Cisco Unified Personal Communicator の解決済みの警告の最新情報を確認できます。Bug Toolkit は、お客様が利用可能なオンライン ツールで、それぞれのニーズに合わせて障害を照会できます。

Bug Toolkit を使用して任意のリリースにおける任意のシビルティの未解決の警告や解決済みの警告を確認するには、Cisco.com (Cisco Connection Online) のアカウントが必要です。Bug Toolkit にアクセスするには、http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl にログインします。

このセクションは、次のトピックから構成されています。

- [Bug Toolkit の使用、11 ページ](#)
- [Bug Toolkit の照会の保存、13 ページ](#)
- [未解決の警告、14 ページ](#)
- [解決済みの警告、18 ページ](#)

Bug Toolkit の使用

Bug Toolkit にアクセスするには、次のものがが必要です。

- インターネット接続
- Web ブラウザ
- Cisco.com のユーザ ID とパスワード

Bug Toolkit を使用する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl に移動して Bug Toolkit にアクセスします。

Cisco.com のユーザ ID とパスワードでログインします。

ステップ 2 Launch Bug Toolkit というハイパーリンクをクリックします。

ステップ 3 特定の警告に関する情報を探す場合は、Enter known bug ID フィールドに ID 番号を入力します。

Cisco Unified Personal Communicator のすべての警告を表示するには、Search for bugs in other Cisco software and hardware products セクションに移動して、Product Name フィールドに「Cisco Unified Personal Communicator」と入力します。または、製品名のリストをスクロールして Cisco Unified Personal Communicator をクリックすることもできます。

ステップ 4 Next をクリックします。検索ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 警告の照会に使用するフィルタを選択します。次のオプションのいずれかまたはすべてを選択できます。

- a. Cisco Unified Personal Communicator のバージョンを選択します。
 - メジャー リリース (1.0、1.1 など) を確認するには、メジャー バージョンを選択します。メジャー リリースには、重要な新機能、機能拡張、アーキテクチャの変更、障害の修正などが含まれています。

- 情報をさらに絞り込むにはリビジョンを選択します。たとえば、メジャーバージョン 1.1 とリビジョンバージョン 3 を選択すると、リリース 1.1(3) の警告を照会できます。

リビジョン（メンテナンス）リリースでは、特定の問題を解決するための障害修正が主に行われますが、新しい機能や機能拡張が追加される場合もあります。

- 照会する機能またはコンポーネントを選択します。Available リストで選択を行って Add をクリックすると、選択内容が Limit search to リストに追加されます。
 - Cisco Unified Personal Communicator の特定リリースのすべての警告を照会するには、左ウィンドウペインの All Features を選択します。



(注) デフォルト値は All Features で、左ウィンドウペインのすべての項目が含まれます。

- Cisco Unified Personal Communicator 関連の警告だけを照会するには、ciscocm を選択して Add をクリックします。
- 電話に関する警告だけを照会するには、ciscocm-phone を選択して Add をクリックします。
- ゲートウェイの警告だけを照会するには、voice-gateway を選択して Add をクリックします。

- 必要に応じて、警告のタイトルや説明を検索するためのキーワードを入力します。



(注) 照会の対象範囲を広げるには、メジャーバージョン / リビジョン、機能 / コンポーネント、キーワードのオプションで、ワイルドカード All を使用します。

- Set Advanced Options を選択します。次のオプションがあります。
 - Bug Severity level : デフォルトでは 1 ~ 3 が指定されています。
 - Bug Status Group : 解決済みの警告を確認する場合は、Fixed チェックボックスにチェックを付けます。
 - Release Note Enclosure: デフォルトでは Valid Release Note Enclosure が指定されています。
- Next をクリックします。

設定した照会に基づいて警告の一覧が返されます。

- さらに照会を実行したり異なる基準を使用して、照会結果を修正することもできます。
- 照会は、後で使用するために保存できます。13 ページの「Bug Toolkit の照会の保存」を参照してください。



(注) Bug Toolkit の詳細なオンラインヘルプを参照するには、Bug Toolkit の任意のウィンドウで Help をクリックします。

Bug Toolkit の照会の保存

Bug Toolkit では、特定の障害やネットワーク状況を監視する照会を作成して保存できます。保存した検索は、いつでも編集を行い、アラート条件や監視する障害、ネットワーク プロファイルを変更できます。

Bug Toolkit の照会の保存は、次の手順で行います。

手順

- ステップ 1** 警告の検索を実行します (11 ページの「Bug Toolkit の使用」を参照)。
- ステップ 2** 検索結果ウィンドウで、下部に表示されている **This Search Criteria** ボタンをクリックします。
新しいウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** **Name of saved search** フィールドに、保存した検索の名前を入力します。
- ステップ 4** **My Bug Groups** で、次のいずれかのオプションを使用して、不具合グループに障害を保存します。
 - **Existing group** のオプション ボタンをクリックし、ドロップダウン リストで既存のグループ名を選択します。
 - **Create new group named** のオプション ボタンをクリックし、グループ名を入力して、保存した検索に使用する新しいグループ名を作成します。



(注) この不具合グループには、保存した検索基準に該当する不具合が格納されます。新しい不具合が検索基準に該当するたびに、その不具合が選択したグループに追加されます。

Bug Toolkit で保存した不具合と検索は、My Stuff ウィンドウで確認できます。(My Stuff ウィンドウでは、既存の不具合グループや保存した検索を表示、作成、および修正できます。My Stuff リンクを選択すると、すべての不具合グループの一覧が確認できます。)

- ステップ 5** 不具合のステータス変更の自動アップデートを受信する場合は、**Email Update Options** でオプションの電子メール通知のプリファレンスを設定します。次のオプションが用意されています。
 - **Do NOT send me any email updates** : このデフォルト設定を選択している場合、Bug Toolkit から電子メールの通知は送信されません。
 - **Send my updates to:** オプション ボタンをクリックしてこのオプションを選択すると、このフィールドに入力したユーザ ID に対して電子メール通知が送信されます。さらに、次の通知オプションがあります。
 - **Updates as they occur** : ステータスの変更が発生すると、Bug Toolkit からアップデートが提供されます。
 - **Weekly summaries** : Bug Toolkit から、週単位の要約されたアップデートが提供されます。
 - **Apply these email update options to all of my saved searches** : このチェックボックスにチェックを付けると、電子メールのアップデート情報オプションが、保存されているすべての検索に適用されます。

- ステップ 6** **Save** をクリックして変更を保存します。

ステップ7 ウィンドウが表示され、保存した不具合グループが表示されます。このウィンドウでは、不具合グループの名前をクリックして、不具合や保存されている検索を確認できます。また、検索基準を編集することもできます。



(注)

Cisco Unified IP Phone のファームウェアのすべてのリリース ノート情報については、http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/english/ で、ご使用の電話モデルに該当するファームウェアのリリース ノートを参照してください。

未解決の警告

表 5 に、Cisco Unified Personal Communicator で発生する可能性がある予期しない動作を示します。このマニュアルでは、シミュレーション 1、シミュレーション 2、シミュレーション 3 の未解決の警告だけを、不具合 ID のアルファベット順で記載します。特に記述のない限り、これらの警告はすべての Cisco Unified Personal Communicator に該当します。それぞれの障害の詳細は、表 5 の URL をクリックするか、その URL に移動して、各障害のオンライン記録(回避策も含まれています)にアクセスしてください。

障害のステータスは頻繁に変わるため、表 5 には、このレポートが編集された時点で未解決の障害しか反映されていないことに注意してください。未解決の障害の最新の一覧については、http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl の Bug Toolkit にアクセスしてください。Bug Toolkit を使用するには、Cisco.com (Cisco Connection Online) のアカウントが必要です。詳細は、11 ページの「Bug Toolkit の使用」を参照してください。

Bug Toolkit の詳細は、次の各セクションを参照してください。

- Bug Toolkit の使用、11 ページ
- Bug Toolkit の照会の保存、13 ページ



(注)

Cisco Unified Presence Server のリリース ノートや、Cisco Unified CallManager のリリース ノートに記載されている警告の中には、Cisco Unified Personal Communicator の警告である可能性があるものも含まれています。これらのリリース ノートには、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/tsd_products_support_series_home.html

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html

表5 Cisco Unified Personal Communicator の未解決の警告

ID	シビラティ	コンポーネント	タイトル
CSCsd62320	3	webcollaboration	Web conf cannot be restarted by other parties in a conversation http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd62320
CSCsd64927	3	softphone	SIP/H.323 trunk calls show incorrect parties if no caller ID available http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd64927
CSCsd68992	3	webcollaboration	Web conf feature does not use alternate server if primary is unreachable http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd68992
CSCsd74564	3	video	Closing video preview during a call halts outgoing video stream http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd74564
CSCsd80973	3	phonecontrol	Unparking a call from the phone yields incorrect party/roster info http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd80973
CSCsd94921	3	voicemail	Excessive errors logged when the voicemail server becomes unreachable http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd94921
CSCsd99634	3	installer	Downgrade of UC should not be allowed (and breaks install) http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd99634
CSCse05990	3	softphone	No notification if logged out because the same user logged in elsewhere http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse05990
CSCse06126	3	userinterface	Only the name of a contact in the contact list is double-clickable http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse06126
CSCse18965	3	softphone	Ability to add attendees disabled for other than initial caller http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse18965
CSCse23668	3	voicemail	Very large voicemail boxes may cause long application launch times http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse23668
CSCse24911	3	other	Mem and Virtual mem usage increases even during IDLE http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse24911
CSCse29207	3	userinterface	Camera light comes on after call hold/resume http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse29207

表5 Cisco Unified Personal Communicator の未解決の警告 (続き)

ID	シビラティ	コンポーネント	タイトル
CSCse29225	3	userinterface	Camera light stays on after far end disconnect on video call http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse29225
CSCse31577	3	directorysearch	Failure to connect to an LDAP server isn't displayed unambiguously http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse31577
CSCse31664	3	phonecontrol	Disabling a network interface interrupts app connectivity permanently http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse31664
CSCse40328	3	userinterface	Stacked communication detail windows are not drawn properly on Win2K http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse40328
CSCse46574	3	voicemail	Rewinding a voicemail that is almost done playing crashes the app http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse46574
CSCse47076	3	video	Upgrade problem with 4k camera http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse47076
CSCse47502	3	directorysearch	Adding a contact while CUPS is disconnected/unreachable shutdown the app http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse47502
CSCse49944	3	softphone	Merge fails to join 3 parties http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse49944
CSCse53219	3	softphone	Merge fails with 2 video calls http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse53219
CSCse56179	3	directorysearch	Quitting quickly after cancelling a search crashes the application http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse56179
CSCse56283	3	other	Can't add more than 100 contacts http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse56283
CSCse59050	3	video	Video quality could be improved http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse59050

表5 Cisco Unified Personal Communicator の未解決の警告 (続き)

ID	シビラティ	コンポーネント	タイトル
CSCse59408	3	softphone	Hub dialpad doesn't use # character to terminate digit analysis http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse59408
CSCse59909	2	softphone	Not able to receive or make calls in softphone mode http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse59909
CSCse65563	3	ucpresence	Presence is incorrect when returning from standby in SP mode http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse65563
CSCse66412	3	phonecontrol	Phone mode doesn't switch to Disabled after Extension Mobility logout http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse66412
CSCse66462	3	softphone	Short burst of sound heard every 20 seconds after muting audio http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse66462
CSCse66606	3	ucpresence	Configuring proxy addresses by hostname may suppress presence data shown http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse66606
CSCse66969	3	userinterface	Recent calls lists voicemail access number instead of called party http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse66969
CSCse74867	2	audio	Robotic audio artifacts heard by gateway party http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse74867
CSCse74985	2	installer	Installer sometimes fails to prompt for reboot on camera driver upgrade http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse74985
CSCse76755	1	other	"If overlap dialing, crash if call hung up too soon after connecting" http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse76755
CSCse78114	2	softphone	Hidden audio session continues after disconnecting outgoing call rapidly http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse78114

解決済みの警告

このリリース ノートの執筆時点では、Cisco Unified Personal Communicator における解決済みの警告はありません。

トラブルシューティング

Cisco Unified Personal Communicator の次のマニュアルに、トラブルシューティングの情報が含まれています。

- 『Cisco Unified Personal Communicator ユーザガイド』
- 『Cisco Unified Personal Communicator トラブルシューティングガイド』

これらの情報には、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/tsd_products_support_series_home.html

マニュアルの最新情報

このセクションでは、製品リリース時には公開されていなかった Cisco Unified Personal Communicator のマニュアルの最新情報を説明します。

Cisco Unified Personal Communicator のすべてのマニュアルの最新バージョンは、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/tsd_products_support_series_home.html

オンライン ヘルプ

オンライン ヘルプおよび関連する PDF では Windows 2000 オペレーティング システムについて言及されていますが、今回のリリースでは Windows 2000 はサポートされていません。

技術情報の入手方法

シスコの製品マニュアルおよび補足資料は、Cisco.com から入手できます。また、テクニカル サポートおよびテクニカル リソースは、さまざまな方法で入手できます。ここでは、シスコシステムズから技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

また、シスコの Web サイトの各国版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Product Documentation DVD

Product Documentation DVD は、製品技術資料をポータブル メディアに収めた総合的なライブラリです。この DVD には、シスコのハードウェアおよびソフトウェア製品に必要なさまざまなバージョンのインストール、設定、およびコマンドに関するガイドが収録されています。また、この DVD ではインターネットに接続されていなくても、シスコの Web サイトに掲載されているのと同じマニュアルを HTML で参照できます。一部の製品については、PDF 版のマニュアルも用意されています。

Product Documentation DVD は、単独の製品または購読物として入手できます。Cisco.com 登録ユーザー (Cisco Direct Customers) の場合、次の URL の Cisco Marketplace から Product Documentation DVD (製品番号: DOC-DOCDVD= または DOC-DOCDVD=SUB) を発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法 (英語版)

Cisco.com の登録ユーザー様は、次の URL の Cisco Marketplace にある Product Documentation Store からシスコ製品の資料をご注文いただけます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコ製品のセキュリティ概要

シスコでは、無償のオンライン Security Vulnerability Policy ポータルを次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトでは、次の方法に関する情報を取得できます。

- シスコ製品のセキュリティの脆弱性を報告する。
- シスコ製品のセキュリティ問題に対するサポートを受ける。
- シスコからセキュリティ情報を入手するために登録を行う。

シスコ製品のセキュリティに関する最新の報告、セキュリティに関する注意事項、およびセキュリティ対応についての最新リストは、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

セキュリティに関する最新の報告、セキュリティに関する注意事項、およびセキュリティ対応をリアルタイムに確認する場合は、Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) フィードに登録してください。PSIRT RSS フィードへの登録方法は次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

この製品には、輸入、輸出、譲渡、使用を規制する米国またはその他の国の法律の対象となる暗号化機能が含まれています。シスコ暗号化製品をの出荷は、暗号化機能を輸入、輸出、配布、または使用する第三者の権限を包含するものではありません。輸入者、輸出者、配布者、およびユーザーには、米国およびその他の国の法律を遵守する責任があります。この製品を使用すると、適用される法律および規則を遵守することに同意したことになります。米国およびその他の国の法律を遵守できない場合は、この製品をすぐに返品してください。

シスコ暗号化製品を規制する米国法の概要は、次の Web サイトで参照できます。

<http://www.cisco.com/www/export/crypto/tool/stqrg.html> 詳細については、export@cisco.com に電子メールでお問い合わせください。

製品のセキュリティ問題の報告

シスコではセキュアな製品の提供をコミットしています。製品のリリース前に社内でテストを実施し、すべての脆弱性を迅速に修正するように努めております。お客様がシスコ製品の脆弱性を発見したと思われる場合は、次の PSIRT にご連絡ください。

- 緊急度の高い問題: security-alert@cisco.com
緊急度の高い問題とは、システムが現在攻撃を受けている場合や、深刻で緊急を要するセキュリティ上の脆弱性をご報告いただく場合です。これ以外の場合はすべて緊急度の低い問題となります。
- 緊急度の低い問題: psirt@cisco.com

緊急度が高い問題の場合、電話で PSIRT に連絡することも可能です。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532



お客様がシスコに機密情報を送信される際には、Pretty Good Privacy (PGP) または PGP と互換性のある製品 (GnuPG など) を使用して情報を暗号化することを推奨します。PSIRT では、PGP バージョン 2.x ~ 9.x で暗号化された情報に対応しております。

無効な暗号キーや失効した暗号キーは使用しないでください。PSIRT と通信する際は、次の URL にある Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションでリンクされている公開キーを使用してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページに記載されているリンクから、使用されている現在の PGP キー ID が確認できます。

PGP を所有していない場合または PGP を使用しない場合は、機密情報を送信する前に前述の E メールアドレスまたは電話番号で PSIRT に連絡し、データの暗号化方法について相談してください。

テクニカル サポート

シスコ テクニカル サポートでは、24 時間体制のテクニカル サポート サービスをご利用いただけます。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、広範囲にわたるオンライン サポート リソースを提供しています。さらに、シスコと有効なサービス契約を結んでいるお客様は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアによる電話サポートも受けることができます。シスコと有効なサービス契約を結んでいない場合は、担当の販売代理店までご連絡ください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、シスコ製品およびテクノロジーに関する技術的な問題のトラブルシューティングと解決を支援するために、オンライン ドキュメントおよびツールを提供しています。この Web サイトは 24 時間ご利用いただけます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ユーザ ID またはパスワードをまだ取得されていないお客様は、次の URL で登録を行えます。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

Web または電話でサービス リクエストを発行する前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して、製品のシリアル番号を事前にご確認ください。CPI ツールにアクセスするには、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトから、[Documentation & Tools] の下にある [Tools & Resources] リンクをクリックします。アルファベット順の索引ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下の **Cisco Product Identification Tool** のリンクをクリックします。CPI ツールでは、製品 ID またはモデル名による検索、ツリービューによる検索に加えて、一部の製品では show コマンドの出力をコピー アンド ペーストして検索することもできます。検索結果では、製品に付いているシリアル番号ラベルの場所を示す図が表示されます。テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、ご使用の製品のシリアル番号ラベルを確認して、情報を控えておいてください。

サービス リクエストの発行

S3 および S4 のサービス リクエストの場合は、オンラインの TAC Service Request Tool を使用すると、最もすばやくケースをオープンできます (S3 および S4 のサービス リクエストとは、ネットワークの機能低下がごくわずかである状況や、製品情報を入手する必要がある状況に該当します)。現在の状況を入力すると、推奨される解決策が TAC Service Request Tool により提示されます。提示された方法で問題が解決しなかった場合、サービス リクエストはシスコのエンジニアに割り当てられます。TAC Service Request Tool の URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 サービス リクエストの場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、シスコ TAC に電話でご連絡ください (S1 または S2 のサービス リクエストは、本稼働ネットワークが停止している状況、またはネットワーク機能が著しく低下している状況に該当します)。S1 および S2 のサービス リクエストの場合、お客様の円滑な業務維持を支援するために、シスコのエンジニアがただちに割り当てられます。

電話でサービス リクエストをオープンする場合の連絡先は、次のとおりです。

アジア太平洋：+61 2 8446 7411（オーストラリア：1 800 805 227）

EMEA（欧州、中東、アフリカ）：+32 2 704 55 55

米国：1 800 553-2447

Cisco TAC の連絡先は、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

サービス リクエストのシビラティの定義

シスコでは、すべてのサービス リクエストの報告形式を標準化するために、次のようにシビラティ（影響度）を定義しています。

シビラティ 1 (S1): 既存のネットワークが「ダウン」した状態か、または業務に致命的な影響がある場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 2 (S2): 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 3 (S3): ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

シビラティ 4 (S4): シスコ製品の機能、インストレーション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンライン及び出版物で入手できます。

- 『Cisco Product Quick Reference Guide』は、便利でコンパクトな参照ツールで、販売代理店から販売されているさまざまなシスコ製品の概要、主要機能、部品番号例、および簡略技術仕様が収録されています。年 2 回更新され、最新のシスコ製品に関する情報が収録されます。『Cisco Product Quick Reference Guide』の注文方法と詳細については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- Cisco Marketplace では、さまざまな書籍、リファレンス ガイド、マニュアル、およびロゴ製品を幅広く提供しています。シスコ直営店の Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーキング、トレーニング、および認定に関する一般的な書籍を幅広く発行しています。これらの出版物は、新しいユーザにとっても、経験豊富なユーザにとっても有益なものです。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』は、シスコが発行する技術的なユーザ誌で、インターネットおよびネットワーク投資を最大限に活用するのに役立つ情報が掲載されています。季刊で発行される『Packet』には、ネットワーク構成やトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、認定とトレーニングに関する情報、および多数の詳細なオンライン リソースへのリンクはもとより、業界の最新トレンド、最新テクノロジー、およびシスコの製品とソリューションに関する記事も掲載されています。『Packet』には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/packet>

日本語版『Packet』は、米国版『Packet』と日本版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>

- 『iQ Magazine』は、シスコが発行する成長企業向けの季刊誌で、テクノロジーを利用しての収益の増加、事業の合理化、およびサービスの拡大を図る方法について学ぶことを目的としています。この雑誌は、実際のケース スタディやビジネス戦略を用いて、成長企業が直面するさまざまな課題や、問題解決の糸口となるテクノロジーを明確にし、テクノロジーの投資に関して読者が正しい決断を行う手助けをします。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

または、次の URL からデジタル版を入手できます。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- 『Internet Protocol Journal』はインターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズが提供するネットワーキング製品およびカスタマー サポート サービスは、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は、ネットワーキング担当者のためのインタラクティブな Web サイトです。ネットワーキング製品やテクノロジーに関する質問、提案、および情報を、シスコの専門家や他のネットワーキング担当者と共有できます。ディスカッションに参加するには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- シスコでは、ネットワーク関連トレーニングを世界規模で実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

This document is to be used with the documents listed in the “Related Documentation” section.

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0601R)

Any Internet Protocol (IP) addresses used in this document are not intended to be actual addresses. Any examples, command display output, and figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses in illustrative content is unintentional and coincidental.

Copyright © 2006, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501